

経営比較分析表（平成29年度決算）

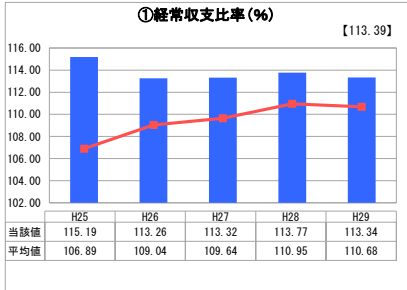
山形県 寒河江市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	84.87	99.31	4,006	

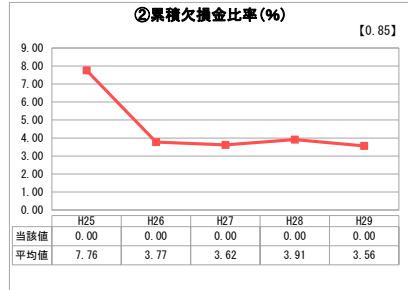
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,463	139.03	298.23
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
41,269	112.14	368.01

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

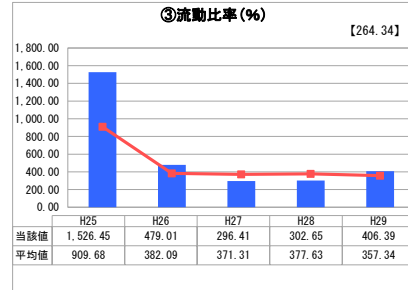
1. 経営の健全性・効率性



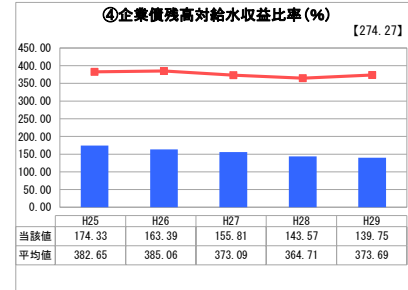
「経常損益」



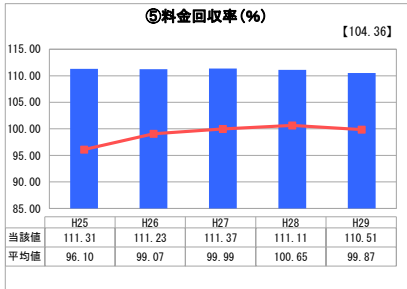
「累積欠損」



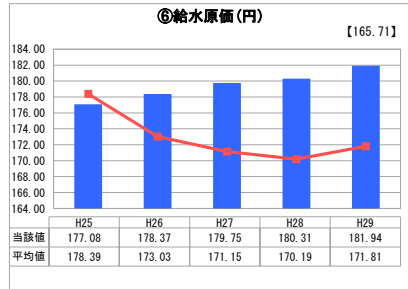
「支払能力」



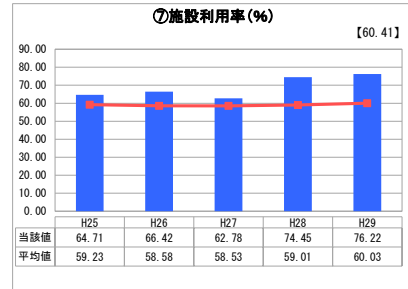
「債務残高」



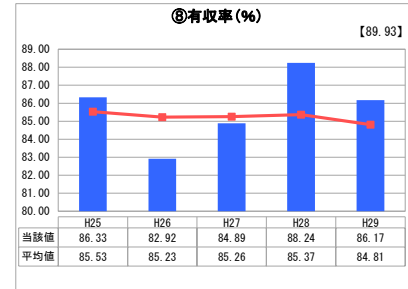
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

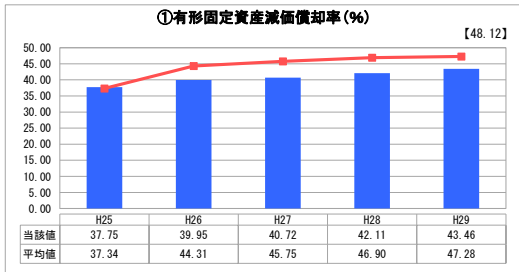


「施設の効率性」

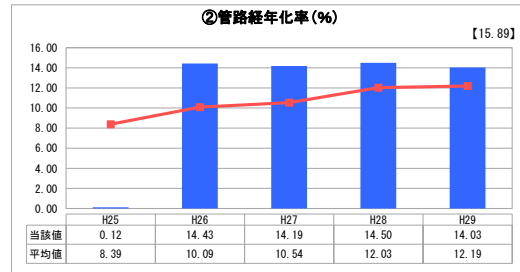


「供給した配水量の効率性」

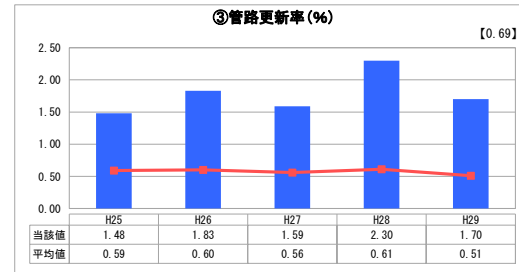
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
⑤料金回収率
各項目100%を超えているため、安定的な収入の確保と健全な経営を続けている。
⑦施設利用率
今後、水需要の減少が予想され、それに伴い施設利用率は減少していくと思われる。また、施設更新においては、ダウンサイジングの検討が必要となってくる。
⑧有収率
効率的な漏水調査を継続しつつ、漏水の多い水道管の更新を優先に行うなど、更なる有収率向上を図っていく。

2. 老朽化の状況について

②管路経年化率
③管路更新率
第2次拡張事業で布設した水道管の更新時期がきているため、管路経年化率が類似団体平均値を上回っているが、管路更新率を高く維持し計画的に更新していく。
特に管路経年化率については、将来的に右肩上がりとなるが見込まれるため、必要性の高い箇所から計画的な管路更新と投資のための財源確保が必要である。

全体総括

①経常収支比率
④企業債務高対給水収益比率
①有形固定資産減価償却率
②管路経年化率
今後上昇が予測される有形固定資産減価償却率並びに管路経年化率の適正化には、老朽化した管路更新の実施と企業債も財源とした投資計画の検討が必要である。また、経常収支比率は良好であるが、増加している経年管路や今後の施設更新事業に対応するため、歳出削減の徹底や財源確保に努め、健全な事業運営に努める。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。